

○地方創生拠点整備交付金事業に係る検証シート

交付金対象事業の名称	高齢者を中心とした地域福祉交流拠点整備事業	
事業の概要	地域の住民が気軽に交流できる福祉拠点施設として活用してもらうことを目的として、町が寄附を受けた住宅（空き家）を改修し、新たに設置予定のカフェスペースを活用した認知症カフェを始めとした各種交流事業を実施する。運営にあたっては、吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、自治会、NPO、近くの小学校や学童クラブ、群馬県等と連携し、様々な交流事業を実施しながら地域の福祉拠点としての機能を充実させて、ボランティアの育成も図っていく。	
事業経費	事業費総額：27,283,057円 （事業費内訳） 【改修工事費】17,683,416円 ・建築改修工事 13,533,896円 ・電気設備工事 1,077,908円 ・機械設備工事 3,071,612円 【駐車場整備費】2,495,152円 ・整地工事 1,076,922円 ・擁壁工事 1,418,230円 【共通費（一般管理費）】4,980,104円 【備品等設置費】855,457円 ・家具等 732,660円 ・家電等 122,797円 【補助対象外経費】1,268,928円	平成31（令和元）年度事業費総額：281,032円 （事業費内訳） 【需用費】 ・消耗品費 15,425円 ・電気料 103,234円 ・上下水道料 105,624円 ・修繕料 56,749円
平成31（令和元）年度 取組内容		取組結果
【地域福祉交流拠点施設利用状況】 ・認知症カフェ ・22カフェ ・学習支援 ・家族介護者交流事業 ・北毛保健生協吉岡支部 ・認知症予防教室 ・こども食堂		・認知症カフェ : 45回/1,216人 ・22カフェ : 11回/69人 ・学習支援 : 10回/90人 ・家族介護者交流事業 : 1回/12人 ・北毛保健生協吉岡支部 : 1回/24人 ・認知症予防教室 : 1回/23人 ・こども食堂 : 1回/10人 合計：70回/1,444人

○地方創生拠点整備交付金事業に係る検証シート

重要業績評価指標	基準値	平成29年度末 目標値 (増加分)	平成29年度末 実績値 (増加分)	平成30年度末 目標値 (増加分)	平成30年度末 実績値 (増加分)	平成31(令和 元)年度末 目標値 (増加分)	平成31(令和 元)年度末 実績値 (増加分)	令和2年度末 目標値 (増加分)
地域福祉交流拠点 施設利用者数 (人)	0	500	746	500	1,056	500	-358	750
交流事業実施数 (回数)	0	33	17	33	45	34	8	50
ボランティア登録 者数(人)	142	3	5	5	6	5	2	5
KPI未達成 の理由	新型コロナウイルスにより事業の中止が相次いだ事が減少の一因と考えられる。							
	認知症家族の交流の場となる「22カフェ」が始まり、昨年度よりも実施件数の増加はしたが、新型コロナウイルスによる事業の中止により目標達成には至らなかった。							
	認知症サポーター養成講座の受講者の中には日中働いている方や他のボランティアを担う方が多く、実際カフェのボランティアの登録につながる方が少なかった。							
事業の課題 /今後の取組	感染予防に配慮し、事業形態を見直しながら実施していく必要がある。							
	より活発に交流事業が行えるよう、既存事業の見直しや新事業の検討をする。							
	認知症サポーター養成講座を引き続き実施するとともに、日々の活動の中でもボランティアを担えそうな人材に積極的に声をかけていく。							
事業の評価	①十分な効果が認められるので、事業を継続							
外部有識者による 意見・記述欄	当該年度はコロナ禍にあり、施設を利用したくても足を運ばない人がいたことが予想できる。当該事業の社会的意義は小さくないことから、このような環境が続いたとしても、同様の効果を得られる、新たな取組も模索されたい。							